

(第137期) 2019年11月期

事業報告書

2018年12月1日から2019年11月30日まで



NACHI

株式会社 不二越

証券コード 6474

株主の皆様へ

株主の皆様には平素から格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

2019年11月期(2018年12月1日から2019年11月30日まで)の事業の概況についてご報告いたします。

経営環境

当期における当社グループをとり巻く環境は、米中通商問題の影響拡大や英国のEU離脱問題などで、世界経済の減速感が一段と強まり、総じて厳しい状況となりました。

事業の経過ならびに成果

このような状況のもと、当社グループは、ロボット事業を核に、工具、工作機械、ベアリング、油圧機器、そして特殊鋼事業をあわせ持つ総合機械メーカーとしての特長を活かし、国内外での新規開拓や、画期的な新商品の市場投入などによる受注・売上の拡大にとり組んでまいりました。また、足もとの収益改善と、中長期的な業容の拡大に向けて、営業・開発・生産体制を強化してまいりました。

しかしながら、国内では自動車や産業機械の弱さが見られ、また、中国を中心に海外市場も減速したことにより、当期の連結売上高は、2,490億円(前期比1.2%減)、このうち、国内売上高は1,350億円(同3.1%増)、海外売上高は1,140億円(同5.9%減)となりました。利益面につきましては、生産性の改善やコストダウンにとり組みましたが、円高に加え、原材料やエネルギー価格の高止まり、人件費増などが収益を圧迫し、営業利益は133億円(同12.8%減)、経常利益は122億円(同11.9%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は82億円(同7.8%減)となりました。

配当金

期末配当金につきましては、収益の状況、今後の事業展開を勘案し、1株につき100円とさせていただきます。

今後の取り組み

今後の事業環境につきましては、米中通商問題をはじめ先行きが不透明であり、現時点におきましては、自動車・産業機械・建設機械・市販分野ともに需要動向が見通しづらい状況にあります。また、当社の主要な需要分野である自動車分野におけるEV化や自動運転化の加速、ものづくりのFA化・IoT化の進展など、当社をとり巻く経営環境も、大きく変化しております。

当社グループといたしましては、このような構造変化を大きなチャンスととらえ、「ロボットを核に 世界最高水準の技術で ものづくりの革新をリードする」を新しい中期スローガンとして、営業・サービス、製造・調達、研究開発の各面で体質を強化してまいります。そして、ロボットをはじめ多彩な事業・技術・生産ノウハウを有する独自性を活かし、新しい商品・新しいビジネスチャンスを創出するとともに、抜本的なコストダウン、人材の強化・育成を含めた構造改革にとり組み、業績の一層の向上に努めてまいります。

株主の皆様をはじめ関係者の皆様には、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2020年2月



代表取締役会長

本間 博夫

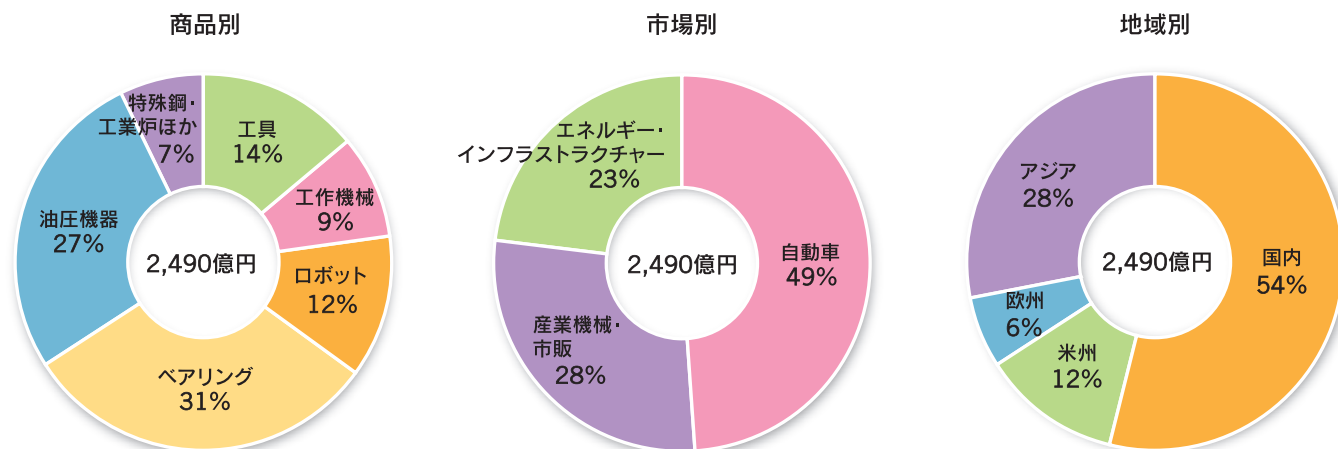


代表取締役社長

坂本 淳

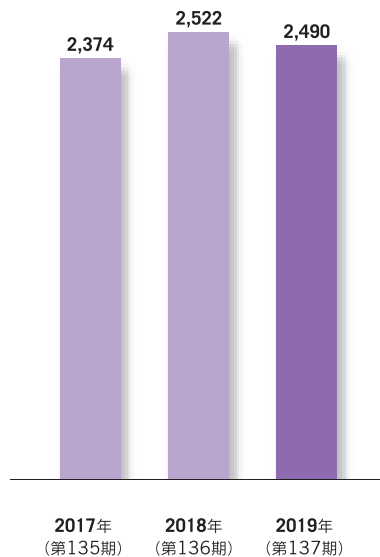
業績の概要(連結)

売上高の構成

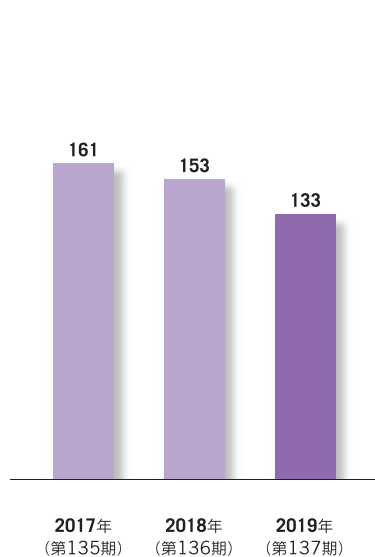


業績の推移

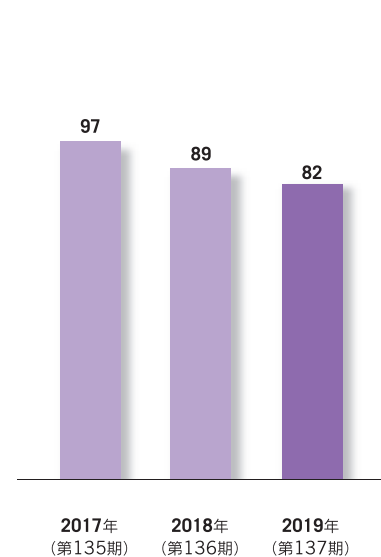
売上高 (億円)



営業利益 (億円)



親会社株主に帰属する当期純利益 (億円)



トピックス

1. 全社 中期スローガンを刷新

ロボットを核に 世界最高水準の技術で ものづくりの革新をリードする

市場の動き・ニーズを捉え、ロボットを核にした総合機械メーカーとして、世界最高水準の商品・技術を開発します。また、生産効率・製品品質を極限まで高め、生産システム・ノウハウをお客様にソリューションとして提供することで、お客様の製品ともものづくりの革新に貢献してまいります。

2. 市場・お客様のニーズに応える商材の拡充

生産ラインの合理化・自動化に貢献し、コスト削減や生産性向上を実現する商材を提供してまいります。

○ 小型ロボットのラインナップ拡充

MZシリーズのラインナップを拡充し、超小型の1kg可搬から、25kg可搬まで取り揃えました。

今後も、スカラロボット(今春市場投入予定)や、協働ロボットなどのラインナップ拡充を進め、また、ロボットを組み込んだシステム・アプリケーションを開発・提供し、あらゆるお客様の自動化ニーズに貢献します。



○ ロボットシステムの標準化

バリ取り工程をシステム化、標準化した「NS-Platform バリ取りセル」を市場投入。

今後も、様々な生産工程で標準化システムの開発・拡販を進めてまいります。



「NS-Platform バリ取りセル」

○ 超硬ラウンドツールのシリーズ拡充

「アクアREVOシリーズ」に、「アクアREVOドリル オイルホール」、超硬エンドミル「アクアREVOミル」を新規投入。引き続き、ラインナップを拡充し、長寿命・高能率で、お客様の生産性向上に貢献します。



「アクアREVOミル」

3.生産体制の強化

IoTを活用したスマート工場を立上げ

今後、需要の拡大が見込まれる、自動化・EV向け商品の生産能力増強をすすめるとともに、新工場は、生産性向上・合理化・コストダウンを徹底したスマート工場といたします。



ロボット第3工場(2019年12月竣工)

○小型ロボット工場の新設

富山事業所に新設したロボット第3工場に、小型ロボットMZシリーズの無人化ラインを導入します。従来と比較して2.5倍まで生産能力を増強し、お客様の自動化ニーズに応えてまいります。

○EV・自動運転向け商品の生産能力増強

滑川事業所にカーハイドロリクス第4工場を新設。EVや自動運転に対応し、今後需要が拡大するアクチュエータやペーンポンプの生産体制を拡充します。



アクチュエータ



ペーンポンプ



カーハイドロリクス第4工場(2019年11月竣工)

○日刊工業新聞社の十大新製品賞などを受賞

超小型コンパクトロボット「MZ01」が、『十大新製品賞 本賞』を受賞。省スペース化への貢献と、設置場所を選ばない汎用性、各種アプリケーションに対応する利便性が評価されました。

また、新超硬ドリル「アクアREVOドリル」が、『“超”モノづくり部品大賞 奨励賞』を受賞。他社従来品に対して2倍以上の長寿命化と、幅広い材料への高品位加工を実現する技術の革新性が高く評価されました。



「MZ01」受賞写真(提供:日刊工業新聞社)

財務諸表

連結貸借対照表

(単位 百万円)

科目	前期(ご参考) (2018年11月30日現在)	当期 (2019年11月30日現在)
(資産の部)		
流動資産	142,249	141,930
現金及び預金	22,363	21,512
受取手形及び売掛金	58,378	56,777
たな卸資産	56,337	59,301
その他	5,170	4,339
固定資産	153,300	158,820
有形固定資産	113,634	116,838
建物及び構築物	30,582	30,466
機械装置及び運搬具	66,239	68,087
土地	9,441	9,615
その他	7,370	8,668
無形固定資産	2,749	3,144
投資その他の資産	36,916	38,837
資産合計	295,550	300,751

(単位 百万円)

科目	前期(ご参考) (2018年11月30日現在)	当期 (2019年11月30日現在)
(負債の部)		
流動負債	104,195	104,879
支払手形及び買掛金	49,923	51,906
短期借入金	34,403	35,572
その他	19,867	17,400
固定負債	70,278	71,074
長期借入金	49,178	50,810
退職給付に係る負債	10,543	10,501
その他	10,557	9,762
負債合計	174,473	175,953
(純資産の部)		
株主資本	109,571	113,354
資本金	16,074	16,074
資本剰余金	11,221	11,252
利益剰余金	82,537	88,297
自己株式	△ 262	△ 2,269
その他の包括利益累計額	4,968	4,878
非支配株主持分	6,536	6,563
純資産合計	121,076	124,797
負債及び純資産合計	295,550	300,751

連結損益計算書

(単位 百万円)

科目	前期(ご参考) (2017年12月1日から 2018年11月30日まで)	当期 (2018年12月1日から 2019年11月30日まで)
売上高	252,209	249,077
営業利益	15,306	13,348
経常利益	13,901	12,241
特別利益	20	9
特別損失	596	437
税金等調整前当期純利益	13,325	11,813
親会社株主に帰属する当期純利益	8,945	8,245

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位 百万円)

科目	前期(ご参考) (2017年12月1日から 2018年11月30日まで)	当期 (2018年12月1日から 2019年11月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	20,207	24,226
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 18,110	△ 23,792
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,582	△ 1,706
現金及び現金同等物の増減額	△ 758	△ 1,620
現金及び現金同等物の期首残高	22,537	21,778
現金及び現金同等物の期末残高	21,778	20,157

株式の状況 (2019年11月30日現在)

発行済株式の総数 24,919,343株

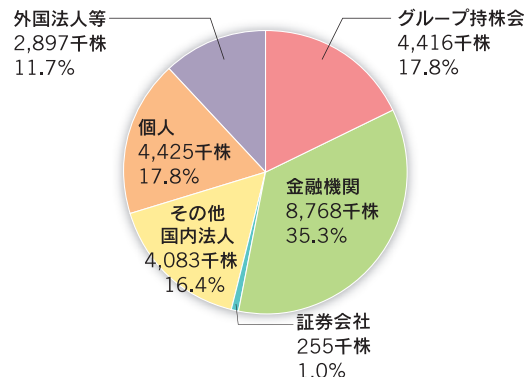
株主数 19,066名

大株主(上位5名)

(注)持株比率は自己株式(71千株)を控除して計算しています。

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
那智わねい持株会	2,206	8.88
ナチ不二越従業員持株会	1,418	5.71
株式会社三菱UFJ銀行	1,188	4.78
トヨタ自動車株式会社	916	3.69
日本マスタートラスト信託銀行(信託口)	901	3.63

所有者別株式分布



取締役および監査役 (2020年2月19日現在)

代表取締役会長	本間博夫	取締役	井上徹	取締役	国崎晃
代表取締役社長	坂本淳	取締役	古澤哲	取締役	児玉純一*
取締役副社長	林秀憲	取締役	浦田信一	取締役	岡部洋*
取締役副社長	藤樫茂	取締役	佐々木法嗣	常勤監査役	小林昌行
常務取締役	原英明	取締役	三浦昇	常勤監査役	堀将志
常務取締役	塚本裕	取締役	赤川正寿	常勤監査役	山崎昌一*
		取締役	濱本智	監査役	松永徳宏*

*印は、それぞれ社外取締役、社外監査役です。

会社の概要 (2019年11月30日現在)

設立	1928年12月21日	資本金	160億円	従業員数	3,173名(グループ人員7,456名)
主要な事業内容	機械工具事業 切削工具、塑性加工工具、切断工具、工作機械、機械加工システム、ロボット、ロボットシステム 部品事業 ベアリング、油圧機器、カーハイドロリクス その他の事業 特殊鋼、コーティング、工業炉				
主な国内事業所	本社 東京都港区東新橋1-9-2 汐留住友ビル17F 〒105-0021 Tel. 03-5568-5111 富山事業所 富山市不二越本町1-1-1 〒930-8511 [工具 工作機械 ベアリング ロボット] Tel. 076-423-5111 東日本支社 東京都港区東新橋1-9-2 汐留住友ビル17F 〒105-0021 中日本支社 名古屋市名東区高社2-120-3 ナチ名古屋ビル 〒465-0095 西日本支社 大阪市北区中之島3-2-18 住友中之島ビル5F 〒530-0005 東富山事業所 富山市米田町3-1-1 〒931-8511 [特殊鋼] / 富山市中田3-2-1 〒931-8453 [油圧機器] 滑川事業所 富山県滑川市大掛176 〒936-0802 [油圧機器 カーハイドロリクス コーティング 工業炉]				
主な海外事業所	NACHI AMERICA INC. (アメリカ) NACHI EUROPE GmbH (ドイツ) 不二越(中国)有限公司 那智不二越(江蘇)精密機械有限公司(中国) NACHI TECHNOLOGY (THAILAND) CO., LTD. (タイ) NACHI SINGAPORE PTE. LTD. (シンガポール)				

株主メモ

証券コード	6474
事業年度	12月1日から翌年11月30日まで
定時株主総会開催時期	2月
基準日	定時株主総会・期末配当 11月30日 中間配当 5月31日
単元株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座管理機関	〒100-8233 東京都千代田区丸の内1-4-1 三井住友信託銀行株式会社
同連絡先 郵便物送付先 お問い合わせ窓口	〒168-0063 東京都杉並区和泉2-8-4 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-782-031 (フリーダイヤル)
ホームページアドレス	http://www.nachi-fujikoshi.co.jp/

■配当金の「口座振込」について

配当金のお受け取りには、安全・確実・便利な「口座振込」をおすすめします。

口座振込のお受け取りは、つぎの3つからお選びいただけます。

株式数比例配分方式 お取引の証券会社の証券口座で、お受け取りいただく方式(証券会社に口座がない株主様は、ご利用いただけません)

登録配当金受領口座方式 ご所有の全銘柄を、1つの銀行等の預金口座で一括して、お受け取りいただく方式(ゆうちょ銀行の口座は、ご指定いただけません)

個別銘柄指定方式 ご所有の銘柄ごとに、銀行等の預金口座を指定し、お受け取りいただく方式

■株式に関するお手続きについて

1. 配当金受取方法のご指定、単元未満株式の買増・買取、住所氏名等のご変更、株式の口座振替申請のお申し出先について

株主様のお取引のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に口座を開設されていない株主様は、特別口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

2. 未払い配当金のお支払い、その他株式事務に関する一般的なお問い合わせ

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

表紙の写真

超小型コンパクトロボット「MZ01」です。

本体質量10kgと人が持ち運べる軽さで、設備レイアウトの変更にもフレキシブルに対応可能。あらゆるお客様の省スペース化・自動ニーズに対応します。